

K-1ニュース (GP) R1.12.27 発行

令和元年度 K-1グランプリを開催しました！



12月19日（木）に、K-1グランプリを開催しました
5つの業務改善事例について、担当グループから発表がありました
また、改善報告件数の年間累計が多い10名の方の表彰も行いました



審査結果

グランプリ (K-1王者)

「微量PCB電気機器の無害化処理に伴う処分費の削減」
上下水道部 施設保全課

準グランプリ

「防災メール配信システムの見直し」 総合政策部 危機管理課

優秀賞

「総合展 THE尾州 改革」 経済部 商工観光課

優良賞

「院内トリアージにおけるシステム整備」 病院事業部 市民病院看護局
「設計書作成用共通ソフトの作成」 まちづくり部 公共建築課

特別賞

「総合展 THE尾州 改革」 経済部 商工観光課

問い合わせ先: 政策課 内線 1034 ※次ページ以降もご覧ください。

各グループの発表要旨(1)

①「院内トリアージにおけるシステム整備」

(一宮市立市民病院 ER)

<改善内容>

- ・院内トリアージに関するルールを再構築・整備しマニュアルを再作成。スタッフに周知するとともに、院内トリアージを実施する看護師には、机上・実動シミュレーションを実施。
- ・専従看護師以外にも院内トリアージ重要性を意識づけるよう働きかけた。
- ・院内トリアージを実施する対象者を拡大した。

<成果>

- ・ウォークイン受診する患者のうち、院内トリアージが実施された患者が31.2%から54.5%へと増加。(2017年→2018年比較)
- ・1,410万円の増収。

<市長講評>

患者にとっても病院にとってもハッピーな、まさにWin-Winな取り組みだと思います。これからもトリアージ率の向上に向けて、さらに改善を進めてください。



②「微量PCB電気機器の無害化処理に伴う処分費の削減」

(施設保全課下水施設管理グループ)



<改善内容>

- ・課電自然循環洗浄にて無害化処理が可能な微量PCB電気機器であることを見つけ出し、安全かつ安価に無害化処理することができた。

<成果>

- ・1億円を超えると予想された処理経費を大幅に軽減することができた。
- ・無害化により処理期限(2027年)以降も機器の使用が可能となった。

<市長講評>

日ごろから、コストカットを目指して改善を続ける気持ちがこの大きな効果として表れた事例だと思います。こうした事例は、素人にはわからない技術的な部分も職員はしっかり対応している、ということを示す機会でもあります。全国大会での活躍期待しています。

各グループの発表要旨(2)

③「総合展 THE尾州 改革」 (商工観光課 繊維G・FDC)

<改善内容>

- ・人材の有効活用（夜間土日の貸館待機職員への準備業務割振り、インターン学生の受け入れ緩和）
- ・ショーの演出工夫（映像演出をスポットライトで表現、モデル出演料を直接交渉）
- ・継続的な改革（イベント新企画）



<成果>

- ・時間の削減（170時間）
- ・経費の削減（200万円）
- ・ショー会場で行うイベントの増加
- ・ショー会場への一般来場者観覧率26%増

<市長講評>

（総合展THE尾州は）今すごく良い取組を続けてくれています。外部に集客を頼るのもいいのですがそれも限界があるので、こうした身近な力を活用する、地に足をつけた取組はいいと思います。

④「設計書作成用共通ソフトの作成」 (公共建築課)

<改善内容>

- ・設計書の作成に掛かる時間の短縮。
- ・設計書の金額確認等に要する時間の削減。
- ・設計書の出力に要する時間の削減。
- ・変更設計書の作成に掛かる時間を削減。

<成果>

- ・設計書の作成作業方法の統一により積算内容のバラツキを無くし、計算間違い等の人為的なミスを排除し、マクロを使用して作業量を極力減らすことにより、設計書作成業務に要する時間を大幅に削減した。

<市長講評>

少し恥ずかしい部分も出しながらの発表は好感がもてました。

これまでも表計算ソフトを使いながらも手計算が必要な部分があったということなので、使える技術は活用し効率化・合理化を絶え間なく続けてもらいたいと思います。



各グループの発表要旨(3)

⑤「防災メール配信システムの見直し」

(総合政策部危機管理課)

<改善内容>

- ・防災メール配信システムの管理会社との契約内容とシステムの仕様を見直し、最新のメール配信システムを導入することにより、大幅な費用削減を実現した。また、消防庁や気象庁の情報配信に連動して自動的にメールを配信するよう設定したことによりメール配信の遅延やミスを防止した。

<成果>

- ・メンテナンス費用の削減(175.4万円) ※H29と比較
- ・メール配信の遅延を防止
各種防災メールの配信時間を合計63.2時間短縮
(平成30年度中)
- ・メール配信のミスを防止

<市長講評>

スライド資料もわかりやすくよかったですと思います。
長年見直されていなかったということで、改善の余地もあり、担当者の方は腕の振るいどころだったと思います。



◎市長総評

どれも興味深く、粒ぞろいで優劣つけ難かったと思います。
また発表についても退屈せず楽しませていただきました。
来年以降も様々なことにチャレンジしていただき、今年を越える改善・提案・発表があることを期待しています。
今年もあとわずかです。皆様お疲れ様でした。



みごとグランプリに輝いた、施設保全課(下水施設管理グループG)の皆さんは、来年2月に兵庫県丹波篠山市で開催される「第14回全国都市改善改革実践事例発表会」に、一宮市代表として出場し発表いたします。

応援、よろしくをお願いします!